

## 富山県 金剛堂山(1637.9m) 平成21年3月21日(土)

メンバー:KA, A.T, I.O, K.O (記) 天候:快晴

コースタイム:利賀スキー場リフト山頂 9:20 ~ 金剛堂山々頂(12:05-13:10) ~ スキー場駐車地 14:45

概要:この週は気温がぐんぐん上がり、しかも木曜日夜半から大雨、各地のスキー場も早々と閉鎖に追い込まれるような積雪状態。どこに出かけるのが良いのか散々思案させられた。取りあえず当初の梅池は中止、前夜発日帰りの範囲で行き先を検討することにした。岐阜県の烏帽子岳と福井県の大辻山が候補に挙がったが、どちらも雪不足の様子、麓の駐車地までの滑走は無理と判断。もっと雪の多いところとして、富山県の新金剛堂山を候補に挙げ、車中で検討しようということにして、大阪を出発した。Aさんはこの辺りの候補山地のリストを持参した。Aさんは、すでに新金剛堂山に登っているが、そのときはガスのため何も見えなかったとのこと、また、この山脈の最高峰(中金剛堂山 1650m)には登っていない、ということで、利賀スキー場のリフトを利用して新金剛堂山に登ることに決定した。前夜は小矢部川SAで仮眠、利賀スキー場に朝7時半に到着した。しかし、リフトは9時からの運行であった。

この日の天候はスキー登山には願ってもない日和。スキー場の山頂までリフト2本を利用して上がり、そこから行動を開始した。ここから、まずはダウンヒル。下った鞍部からシールを付けて登り出す。ルート途中はブッシュもなく、どの方面にも格好の斜面が広がっていた。途中アップダウンを5回程繰り返して、山頂に到着した。4つ目のピークを登っているときに、ちょっとした油断から、私はスリップ。左肩を樹木の幹にぶつけ、肩を損傷してしまった。ミニスキーにシールのサイズが合っておらず、アイスパーンを侮ったのがいけなかった。肩の骨が少しずれたようである。かなり痛みがあったが、鎮痛剤を塗り、痛み止めを服用、そのまま山頂を目指すことにした。このため約20分程、時間をロスしたが、山頂には12時過ぎに到着。最終のIさんも12時25分に到着した。



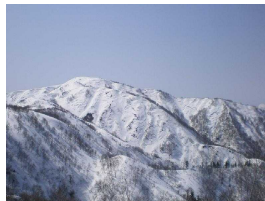
山頂には石造りの祠があるが、ここは正確には前金剛堂山ということである。地形図にはここが新金剛堂山と表記されている。Aさんは、前回登れなかった最高峰、この一つ先にある中金剛堂山(1650m)まで足を伸ばした。山頂を含め、登高中の尾根からは、御岳、乗鞍、穂高、剣、白山の山々が望まれ、最高のロケーションであった。先週に引き続き、雪山登山と山スキーの楽しさと素晴らしさに感謝した。

遠くに剣・後立山連峰を望む 下りは、夏の登山道に沿って滑り降り、最後は、夏道から外れ、スキー場に向けて急な斜面を滑り降りた。下りの斜面はまだまだ積雪も豊富で、最後まで満足できる滑りができた。

ホームページへ <http://allmt.hp.infoseek.co.jp/>



利賀スキー場



途中、新金剛堂山を望む



山頂にて



KAさん



Iさんもようやく到着



快適に滑るAさん



続いてTさんも



最後まで積雪に恵まれました